

**授業概要**

## 映像に見るアメリカ文化

英語圏文化の中心であるアメリカという国家の成立と文化を、映画などの映像からたどってゆく。皆の関心のあるアメリカ映画が分析の対象になる予定である。映画の重要な場面を見て、監督は何を意図したかという映画の意図的メッセージ、また文化無意識的なメッセージを分析してゆく。

**授業計画**

第1回	先住民問題・『ポカホンタス』：被害者と加害者の図式はいかにつくられるかを考察
第2回	奴隷制度・『アミスタッド』『ロストワールド』『猿の惑星』：奴隷の反逆を検証
第3回	移民という文化・『タイタニック』：被支配者はいかにして階級に挑戦するのかを考察
第4回	独立宣言のイメージと大統領というヒーロー・『インディペンデンス・デイ』：大統領というヒーローとアメリカの演説文化を考察
第5回	独立宣言のイメージと大統領というヒーロー・『インディペンデンス・デイ』：大統領というヒーローとアメリカの演説文化を考察
第6回	アメリカと銃社会・『ボウリング・コロンバイン』：銃規制の問題を考察
第7回	世界の警察としてのアメリカ・『リオ・ブラボー』『ダーティ・ハリー』：警察、保安官のイメージを検証
第8回	冷戦とモンスター映画・『ボディ・スナッチャー』『絶対の危機』：冷戦および共産主義を赤狩りのイメージを考察
第9回	核兵器とアメリカの覇権・『放射能X』：核兵器の恐怖イメージを検証
第10回	ベトナム戦争・『地獄の黙示録』『プラトーン』『ディア・ハンター』：ベトナム戦争を世論はいかにとらえたかを考察
第11回	エイズ問題と差別・『フィラデルフィア』『マイ・フレンド・フォーエバー』：なぜエイズ差別とゲイ差別が生まれたのかを考察
第12回	陪審員制度・『十二人の怒れる男』『ディスクロージャー』『ニューオリンズ・トライアル』：アメリカの裁判制度の根底を考察
第13回	湾岸戦争、イラク戦争・『戦火の勇気』：メディア戦争としての二つの戦争を考察
第14回	同時多発テロとヒーローの復活・『マトリックス』『スパイダーマン』『MR.インクレディブル』：アメリカン・ヒーローのイメージを考察
第15回	総まとめ（筆記試験）

**履修上の注意**

マナーを尊重して楽しい授業にしてゆきたいので、積極的な参加を望みたい。大量の資料を配布するのでファイルを持参のこと

**評価方法**

レポートと授業中のコメントや出席、および期末試験などの総合評価

**テキスト**

別に指定する